

1 マスク着用の基本的な考え方

- 児童生徒・教職員とも、**学校教育活動に当たって、マスクの着用を求めないことを基本とする**
- 引き続き、**マスクの着用が推奨される以下の場面等**においては、児童生徒や教職員も**着用を推奨**
 - ・登下校時（通勤ラッシュ時）に**混雑した電車やバス**を利用する場合
 - ・校外学習等において**医療機関や高齢者施設等**を訪問する場合
- マスクの着脱を強いることのないようにするとともに**、児童生徒の間でも着用の有無による**差別・偏見等がないように適切に指導**
- 学校教育活動の中で「**感染リスクが比較的高い学習活動**」の実施に当たっては、活動の場面に応じて、**別添に示す一定の感染症対策を講じることが望ましい**

【学校行事（儀式的行事・体育的行事・文化的行事）での場面】

- 国歌・校歌の斉唱や合唱時・呼びかけ等も含めて**、児童生徒・教職員・来賓・保護者とも、**マスクの着用を求めないことを基本**

(感染予防対策)

場面・項目	留意事項
合唱時等	体の中心から 前方 1 m程度・左右50cm程度を目安とした距離を確保 する
参加人数	来賓や保護者等については、着席を基本とし、座席間に 触れ合わない程度の距離を確保した上で、感染対策上での来賓や保護者等の参加人数の制限は必要ない
行事の精選・時間の短縮	感染対策上での実施内容の精選や時間の短縮を行う必要はない

2 効果的な換気の実施と給食の場面の対応

場面	項目	留意事項
効果的な換気	換気の確保	CO ₂ モニターによる二酸化炭素濃度の計測等、学校についても、気候等に応じて、できる限り 1,000ppm相当の換気に取り組むことが望ましい
	十分な換気が確保できない場合	サーキュレータやHEPAフィルタ付き空気清浄機等の導入など、換気のための 補完的な措置を講じること
給食	手洗い等の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の前後の手洗いの徹底と適切な換気の確保 ・会食に当たっては、飛沫を飛ばさないように注意
	距離の確保等	大声での会話は控える、机を向かい合わせにする場合には 対面の児童生徒の間に一定の距離（1 m程度）を確保する等の措置を講じることにより、「黙食」は必要ない

3 その他

新型コロナウイルス感染症が、本年5月8日に5類感染症に位置付けられる予定であることに伴い、今後、マスク着用以外の感染症対策についても見直しが行われる予定

感染のリスクが比較的高い学習活動の実施に当たっての感染症対策

(別添)

感染のリスクが比較的高い学習活動		一定の感染症対策
各教科共通	児童生徒が対面形式となるグループワーク等	<ul style="list-style-type: none"> ・気候上可能な限り、2方向の窓を同時に開けて、常時換気を行うとともに、CO₂モニターを使用して換気の状態を計測すること ・十分な換気が確保できない場合には、サーキュレータやHEPAフィルタ付き空気清浄機等の補完的な措置を講じること ・少人数のグループで実施するとともに、大声での会話は控えること
	一斉に大きな声で話す活動	<ul style="list-style-type: none"> ・近距離で向かい合っでの発声は控えること
理科	児童生徒がグループで行う実験や観察	<ul style="list-style-type: none"> ・共用又は備え付けの器具・用具等を使用する際には、配置場所や使用順を工夫し、触れ合わない程度の距離を確保すること
音楽	児童生徒が行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の演奏	<ul style="list-style-type: none"> ・体の中心から前方1 m程度・左右50 cm程度を目安とした距離を確保し、原則、向かい合っでの歌唱は控えること
美術、工芸、 図画工作	児童生徒が行う共同制作等の表現や鑑賞の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・共用又は備え付けの器具・用具等を使用する際には、配置場所や使用順を工夫し、触れ合わない程度の距離を確保すること
技術・家庭、 家庭	児童生徒がグループで行う調理実習	<ul style="list-style-type: none"> ・共用又は備え付けの器具・用具等を使用する際には、配置場所や使用順を工夫し、触れ合わない程度の距離を確保すること ・試食の際は、大声での会話は控える、座席を向かい合わせにする場合には対面の座席間に一定の距離（1 m程度）を確保する等の措置を講じること
保健体育、 体育	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が密集する運動 ・組み合ったり接触したりする運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・大声での発声は控えるとともに、見学や休憩時等は、触れ合わない程度の距離を確保し、大声での会話や発声は控えること

※部活動等において同様の活動を行う場合も同様